

平成22年度 指定管理者施設管理評価シート

部 文化産業観光部 課 文化振興課

施設名称 [6] 東京都台東区立朝倉彫塑館

指定管理者の名称 財団法人台東区芸術文化財団 指定期間 H22. 4. 1 ~ H27. 3. 31

1. 指定管理者の概要

(1) 業務内容	芸術文化、区民文化、スポーツ文化に関する事業の実施。 芸術・文化・スポーツ施設の管理運営。
(2) 類似施設の管理実績	文化施設 5 箇所
(3) 経営状況	21年度決算 歳入 850,037,096円 歳出 748,617,082円 収支差額 101,420,014円 (区返納金 81,420,014円次期繰越金 20,000,000円) 監査の結果、事業報告書、決算報告書、決算付属明細書並びに財産目録は適正であった。(内部監査報告書より)

2. 施設の概要

(1) 所在地	台東区谷中 7-18-10
(2) 設置目的	台東区名誉区民であり、日本彫塑界最高峰を極めた朝倉文夫の彫塑芸術作品を気軽に鑑賞できるようにすることで、親しみと理解を深め、芸術文化の向上に寄与するとともに、区民文化の振興を図る。
(3) 利用者	区民ほか
(4) 開館日・時間	保存修復工事のため、平成21年4月～平成25年3月(予定)まで休館中である。
(5) 規模	延べ床面積 1,233.96㎡ R C造(アトリエ) 木造瓦葺(住居) S造(収蔵庫) 地上3階地下1階 屋上/ポンプ室、機械室、事務室、アトリエ、住居等(公開部分洋室、和2室)、展示室、収蔵庫、庭園など
(6) 人員体制	4名 特例非常勤職員(1) 派遣職員(1) 研究員(1) 専門員(1)

3. 事業(サービス提供)の概要

(1) 委託事業	休館中における彫刻、彫塑等の美術作品の保管・収集等。彫塑等に関する調査及び研究などの事業。
(2) 自主事業	

4. 予算決算の推移

		17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
予算	委託料	26,543,000	27,886,000	28,708,000	25,154,000	16,115,000
	料金収入等	0	0	0	0	0
	管理経費	26,543,000	27,886,000	28,708,000	25,154,000	16,115,000
決算	委託料	25,506,978	23,278,244	25,952,618	21,948,659	13,829,887
	料金収入等	0	0	0	0	0
	管理経費	25,506,978	23,278,244	25,952,618	21,948,659	13,829,887
	収支	0	0	0	0	0

5. 施設の稼働状況等(活動指標)

指標名称	単位	18年度	19年度	20年度	21年度
開館日数	日	252	257	255	休館中

6. 成果指標

指標名称	単位	目標値(23年度)	19年度	20年度	21年度
入館者数	人	休館中	43,622	45,957	休館中

7. 前年度からの取組

芸大と連携して『コレクション展』を開催し、休館中においても朝倉文夫や朝倉彫塑館のPRに努めた。また、区内の朝倉文夫作品を訪ねる『台東ぶらり散歩』の実施や、保存修復工事の進捗状況を周知するための工事見学会を実施した。

8. 評価項目 3：協定等の水準を上回っている。 0：協定等の水準を下回っている。
 2：協定等の水準どおりである。 -：評価対象外項目。
 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。

評価の観点	評価項目			
(1) 事業の運営 平均 [2.0]	(a) 施設の目的達成	[2]	(f) 開館時間等の遵守	[2]
	(b) サービス水準	[2]	(g) 自主事業の成果	[2]
	(c) 職員配置	[2]	(h) 個人情報保護	[2]
	(d) 職員研修	[2]	(i) 緊急時対応マニュアル	[2]
	(e) 案内・接遇	[2]	(j) 警備・防犯体制	[2]
(2) 施設の維持管理 平均 [2.0]	(a) 建物保守・設備機器点検	[-]	(e) 危険箇所等の確認	[-]
	(b) 備品の管理	[2]	(f) 管理記録の作成・保存	[-]
	(c) 清掃・衛生管理	[-]	(g) 業務委託の事前承認	[-]
	(d) 施設の修繕	[-]	(h) 省エネ・省資源・環境配慮	[-]
(3) 利用者の満足度 平均 [2.0]	(a) 利用者・第三者機関の評価	[-]	(d) 利用しやすい環境整備	[-]
	(b) 苦情・要望への対応と報告	[-]	(e) 関係団体・地域との関わり	[2]
	(c) 利用者数の目標達成	[-]		
(4) 歳入歳出 平均 [2.0]	(a) 適正な予算執行	[2]	(c) 収支計画の達成	[2]
	(b) 経費削減のための取組み	[2]	(d) 利用料等の徴収・管理	[2]

9. 評価
 S（水準以上）：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。
 A（適正）：協定等の水準を満たす管理が行われている。
 B（一部課題あり）：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。
 C（課題あり）：協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。
 D（水準未滿）：協定等の水準を満たしていない。

評価の視点	評価	説明
(1) 事業の運営	A	現在休館中ではあるが、朝倉作品の適切な保全や情報発信業務など管理運営に関する業務は、円滑に実施されている。
(2) 施設の維持管理	A	備品及び物品の管理は適切になされている。
(3) 利用者の満足度	A	保存修復工事のため、平成25年3月（予定）まで休館中であるが、東京藝術大学など、関係団体との連携を密接に行っている。
(4) 歳入歳出	A	予算については概ね適切に執行されている。今後はさらに効率的な運営に取り組む必要がある。

10. 総合評価 良好 妥当 要努力 要改善 不適

妥当

休館中においても、委託業務は円滑になされており、指定管理者の施設管理は概ね適切である。

11. 評価結果への対応

25年4月（予定）のリニューアルオープンに向けて、休館中においても、朝倉文夫や朝倉彫塑館のPRに積極的に取り組んでいく。